

会議録

審議会等名	令和3年度第2回三条市男女共同参画審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	令和4年3月17日(木) 午後2時～3時		
開催場所	旧青少年育成センター2階会議室	傍聴者の有無	無
出席者氏名	委員：渡邊会長 (zoom)、須佐委員、関根委員、馬場委員、西山委員、久保委員 (zoom)、丸山委員 (7人) 事務局：小島課長、新田課長補佐、高野係長、大澤主事		
議 題	令和3年度第2次三条市男女共同参画推進プラン実施状況について		
発言内容等	会議要旨 議題についての質疑、意見交換は、次ページのとおり		

議題1 令和3年度第2次三条市男女共同参画推進プラン実施状況について
 (資料に基づき実施計画の内容を説明)

渡邊会長	事業No.5 男の料理教室について、参加人数が9人とあるが、年齢構成はどうだったのか。
事務局	男の料理教室を実施している公民館から聞き取りを行ったところ、平日開催ということもあり、60代以上の男性がメインになっているとのことだった。
渡邊会長	事業No.53 男性職員の育児休業及び介護休暇取得の推進について、目標値に対する結果で休暇・休業取得者の割合 25%とあるが、何人中何人が取得したのか。
事務局	16人中4人が取得している。取得していない12人は、休暇・休業を希望していない。希望している職員は確実に取得できている。
渡邊会長	審議会としてはなぜ希望しないのかという点が非常に重要である。できれば、その部分もヒアリング等をしてもらえれば今後の事業充実に寄与するのではないかと思う。
事務局	人事課にヒアリングを行ったところ、給与関係での心配があり、希望しない職員も多いのではないかとのことだった。相談者には人事課と会計課でシミュレーションを作成し、提示した上で、相談に乗っている。
関根委員	事業No.2 ひまわり専科では、実施状況の工夫をした点の中で、「女性が興味を持ちそうなテーマを選定した」と書いてあり、固定化した女性のイメージに寄せて内容を決定しているように思える。これらのテーマ選定の方法によって、女性の固定的なイメージが見え隠れすることに疑問を感じる。
渡邊会長	セミナー等の対象を絞ったとしてもそこに多様性を認めるというのが、実際の筋だと思う。企画をする段階での思い込みがあるのではないか。
西山委員	行事を実施する側としては参加者に女性が多いことや女性の方が様々なことに興味関心があるため、企画段階で女性の固定的なイメージが出てくるのだと思う。多様性の時代であるため、「女性の」や「女性のための」という表現を無くす風潮になっているが、その考え方もどうなのか。
関根委員	「男らしい」や「女らしい」といったそれぞれの性別による特性があるとしたら、その特性をいかした社会参画もあるとは思いますが、男女共同参画でいう男性、女性と整理できていないように感じている。

丸山委員	<p>孫が男の子であるが、赤いランドセルが欲しいと言っていた。家族は男の子だから男らしい色のランドセルを買ってほしいということで、説得して違う色のランドセルを買うことになった。自分の中にまだ男らしい色、女らしい色という固定観念があると感じた。</p>
渡邊会長	<p>固定観念を完全に払しょくしなければいけないということではなく、押し付けることが良くないということだと思う。</p> <p>今の時代、選択肢が多様になってきているため、強制しないということがより一層問われている。</p> <p>生涯学習課のメニューについては、多様性ということ意識してもらい、メニュー選定をすればいいと思う。</p>
馬場委員	<p>私は、昨年まで農協の役員だったが、今年から代わって別の女性が役員となっている。男性が多い農業関係で女性1人が役員会に参加してきたが、無理やり女性を出させなくてもいいのではないかという意見もあった。やはり女性1人で役員というのは大変だと感じたため、改選時に女性役員を2人以上にしたが、新しい人になったら男女共同参画の考え方自体が浸透しておらず、仕事を2人で分け合い、会議を選んで1人ずつ出ているようになってしまった。根本的に男女共同参画を浸透させるために、ひまわり専科のような趣味みたいな講座もいいが、女性の社会進出に向けた勉強会をしてもいいのではないか。</p>
久保委員	<p>皆さんの話を聞いて、多様性が認められていく中で、男女にかかわらず様々な機会が提供でき、多様性の社会を実現できることが重要であると改めて感じた。20代～30代の世代というのは、結構女性で活躍されている方が多く、男女に関する固定概念が強くないと感じている。だからこそ、無関心にならずに、男女問わず機会を提供し続けられるように意識を持って行動していくべきだと感じている。私の周りにも男性職員で育休取得をしている人がいるので、その良い動きを絶やさずにいければより良い社会になると考えている。</p>
渡邊会長	<p>審議会等委員の女性登用率の問題は当審議会でもずっと議論してきたが、なかなか上がっていかない。目標値の30%を達成できないことについて、事務局の意見はあるか。</p>
事務局	<p>市長も危惧しており、所管課の行政課には市長から「女性委員を選出してもらおうよう各課に促してほしい」と指示が出ている。</p> <p>また、地域経営課と行政課で審議会を持っている課を回り、改めて審議会委員を選出する時の依頼文に女性を中心に選出してほしいという旨を伝えている。任期満了が近い審議会があれば行政課の方から各課に女性委員を入れてほしい旨を伝えているが、増えていないのが現状である。</p>

<p>渡邊会長</p>	<p>県や他市でどのように審議会の女性登用率を上げているのかを調べてみたが、新潟県では10年前に比べて2.7%しか上がっていない。5%近く伸びた年もあったが、たまたま女性の選出が多かったというだけで、どんどん下がってきている。他の自治体でも女性の人材リストを作っているところや、最低1人は女性を入れてほしいと依頼するといった工夫をしているところもあった。</p> <p>三条市としてもより工夫をして、来年度には30%になるように地域経営課と行政課で協力して取り組んでいきたい。</p>
<p>西山委員</p>	<p>様々な方法があると思うが、まずは数を増やすことが大切であると感じている。引き続き検討してもらいたい。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>孫を連れてあそぼってなどの子育て支援施設に行くと、男性の方もいるので、男性の方もだんだん育児に参加するようになってきて良かったと思った。</p> <p>いくつか意見があったが、修正ではなく、原案どおりの決定しとたい。委員からもらった意見は事務局を通して各課に伝えてほしい。</p> <p>予定した議事は、全て終了した。</p> <p>以上で、第2回三条市男女共同参画審議会を閉会する。</p>